

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成16年8月26日(2004.8.26)

【公表番号】特表2000-505045(P2000-505045A)

【公表日】平成12年4月25日(2000.4.25)

【出願番号】特願平9-507842

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 31/745

A 6 1 P 9/00

A 6 1 K 31/765

A 6 1 K 31/78

A 6 1 K 31/80

A 6 1 K 49/00

【F I】

A 6 1 K 31/745

A 6 1 K 31/00 6 0 9

A 6 1 K 31/765

A 6 1 K 31/78

A 6 1 K 31/80

A 6 1 K 49/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成15年7月25日(2003.7.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成 15. 7. 25 年 月 日



特許庁長官 今 井 康 夫 殿

1. 事件の表示 平成 9 年特許願第 5 0 7 8 4 2 号

2. 補正をする者

事件との関係 出 願 人

名 称 マイクロ セラピューティックス インコーポレイテッド

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区丸の内 3 丁目 3 番 1 号
電話 (代) 3211-8741

氏 名 (5995) 弁理士 中 村 稔



4. 補正命令の日付 自 発

5. (本補正により請求の範囲に記載された請求項の数は合計「32」
となりました。)

6. 補正対象書類名 明細書

7. 補正対象項目名 請求の範囲

8. 補正の内容 別紙記載の通り

方 式 査 査



請求の範囲

1. (a) 約2.5重量%から約8.0重量%までの生体適合性ポリマー、
(b) 約10 μm 以下の平均粒子サイズを有する約10重量%から約40重量%までの
水不溶性、生体適合性造影剤、及び
(c) 約52重量%から約87.5重量%までの生体適合性溶媒
(ポリマー、造影剤及び生体適合性溶媒の重量%は全組成物の合計重量を基準と
する)
を含む組成物。
2. 前記生体適合性溶媒がジメチルスルホキシド、エタノール及びアセトンから
なる群から選ばれる請求項 1 に記載の組成物。
3. 前記生体適合性溶媒がジメチルスルホキシドである請求項 2 に記載の組成物
。
4. 前記水不溶性造影剤がタンタル、酸化タンタル、タングステン及び硫酸バリ
ウムからなる群から選ばれる請求項 1 に記載の組成物。
5. 前記造影剤がタンタルである請求項 3 に記載の組成物。
6. 前記生体適合性ポリマーがセルロースアセテート、エチレンビニルアルコー
ルコポリマー、ヒドロゲル、ポリアクリロニトリル、ポリ酢酸ビニル、セルロー
スアセテートブチレート、ニトロセルロース、ウレタン／カーボネートのコポリ
マー、スチレン／マレイン酸のコポリマー、及びこれらの混合物からなる群から
選ばれる請求項 1 に記載の組成物。
7. 前記生体適合性ポリマーがエチレンとビニルアルコールのコポリマーである
請求項 6 に記載の組成物。
8. 前記造影剤が1ミクロンから10ミクロンまでの平均粒子サイズを有する請求
項 7 に記載の組成物。
9. (a) 生体適合性プレポリマー、
(b) 約10 μm 以下の平均粒子サイズを有する水不溶性生体適合性造影剤、及び
(c) 生体適合性溶媒
を含む組成物。

10. 前記水不溶性造影剤がタンタル、酸化タンタル及び硫酸バリウムからなる群から選ばれる請求項9に記載の組成物。
11. 前記造影剤がタンタルである請求項9に記載の組成物。
12. 前記生体適合性プレポリマーがシアノアクリレート、ヒドロキシエチルメタクリレート、及びシリコーンプレポリマーからなる群から選ばれる請求項9に記載の組成物。
13. 前記生体適合性プレポリマーがシアノアクリレートである請求項12に記載の組成物。
14. 前記造影剤が1ミクロンから10ミクロンまでの平均粒子サイズを有する請求項13に記載の組成物。
15. 生体適合性溶媒を更に含む請求項9に記載の組成物。
16. 前記生体適合性溶媒がジメチルスルホキシド、アセトン及びエタノールからなる群から選ばれる請求項15に記載の組成物。
17. (a) 生体適合性ポリマー、生体適合性溶媒及び約 $10\mu\text{m}$ 以下の平均粒子サイズを有する水不溶性、生体適合性造影剤を含むポリマー組成物、及び
(b) カテーテルを含む部品のキット。
18. 前記生体適合性溶媒がジメチルスルホキシド、エタノール及びアセトンからなる群から選ばれる請求項17に記載の部品のキット。
19. 前記生体適合性溶媒がジメチルスルホキシドである請求項18に記載の部品のキット。
20. 前記水不溶性造影剤がタンタル、酸化タンタル、タングステン及び硫酸バリウムからなる群から選ばれる請求項17に記載の部品のキット。
21. 前記造影剤がタンタルである請求項20に記載の部品のキット。
22. 前記生体適合性ポリマーがセルロースアセテート、エチレンビニルアルコールコポリマー、ヒドロゲル、ポリアクリロニトリル、ポリ酢酸ビニル、セルロースアセテートブチレート、ニトロセルロース、ウレタン／カーボネートのコポリマー、スチレン／マレイン酸のコポリマー、及びこれらの混合物からなる群から選ばれる請求項17に記載の部品のキット。

23. 前記生体適合性ポリマーがエチレンとビニルアルコールのコポリマーである請求項22に記載の部品のキット。

24. 前記造影剤が1ミクロンから10ミクロンまでの平均粒子サイズを有する請求項23に記載の部品のキット。

25. 血流を減少または停止するためのマイクロバルーンカテーテルを更に含む請求項17に記載の部品のキット。

26.(a)生体適合性プレポリマー、約10 μ m以下の平均粒子サイズを有する水不溶性生体適合性造影剤、及び、必要により、生体適合性溶媒を含むプレポリマー組成物、及び

(b) カテーテル

を含む部品のキット。

27. 前記水不溶性造影剤がタンタル、酸化タンタル、タングステン及び硫酸バリウムからなる群から選ばれる請求項26に記載の部品のキット。

28. 前記造影剤がタンタルである請求項27に記載の部品のキット。

29. 前記生体適合性プレポリマーがシアノアクリレート、ヒドロキシエチルメタクリレート、及びシリコーンプレポリマーからなる群から選ばれる請求項26に記載の部品のキット。

30. 前記生体適合性プレポリマーがシアノアクリレートである請求項29に記載の部品のキット。

31. 前記造影剤が1ミクロンから10ミクロンまでの平均粒子サイズを有する請求項26に記載の部品のキット。

32. 血流を減少または停止するためのマイクロバルーンカテーテルを更に含む請求項26に記載の部品のキット。